

益子

美しい自然と穏やかでありながらエネルギーにあふれた人々が暮らす町、益子町。

陶器の産地として、海外にもその名が知られています。なだらかに広がる田畑に小高い山や丘、春には水鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いちご、ブルーベリー、ぶどう、なし、りんごなど里を彩る四季の恵み……。初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせる町です。

そんな風土を背景に生まれた「益子焼」は、艶のあるなめらかな肌をもつ、たっぷりとした厚手の器。手のひらで包むと、じんわりとあたたかさが伝わってきます。民芸運動の拠点として大正時代から内外の陶芸家たちを受け入れてきただけあって、進取の気性に富む土地柄も大きな魅力です。

住んでみると、観光では知り得ない益子の新しい顔を発見し、奥深さを味わえることでしょう。陶芸の町として知られる益子ですが、魅力はそれだけじゃない！自然あふれる里山らしいイベントやおしゃれな街の風景・家族の遊び場など盛沢山

里山リゾートホテル

焼きもののふるさと益子に天然温泉がわき出しました。「お客様にご満足を！」をモットーに、益子焼の素朴さとあたたかな心でお客様をお迎えいたします。

<http://mashikokan.jp/>

ひげた

日下田藍染工房

かつては庶民の衣料の8割が藍染めでした。この日本の伝統的な藍染、草木染の手法を守り伝えて200年。藍は「ジャパン・ブルー」と呼ばれ、その色や染法は世界でも高い評価があります。また、藍染め文化にも大きく関わる木綿の伝統も守るべく、綿の栽培や糸づくり、糸染め、手織りにも取り組んでおります。伝統の色をつくり出す空間へぜひお越し下さい。

<http://www.mashiko-kankou.org/shop/?shop=00493>

益子焼城内坂通り

益子焼のおもしろいお店と、いろいろな食堂が沢山あります。

<http://www.mashiko-kankou.org/shop/?shop=00433>

益子陶芸美術館

益子陶芸美術館では人間国宝の濱田庄司や島岡達三の作品などを展示するほか、一年を通しさまざまな企画展を開催しています。また、敷地内には「濱田庄司邸」を移築し、その前には濱田が生前愛用した登り窯なども復元されています。

<http://www.mashiko-museum.jp/>

<オプション(小林からの提案)>

紅葉が良ければ

日下田藍染工房⇒城内坂通り周辺散策(ランチタイム)⇒益子陶器美術館⇒益子県立自然公園 益子の森の紅葉⇒タクシーで益子駅

<https://koyo.walkerplus.com/detail/ar0309e394011/>

https://sp.jorudan.co.jp/leaf/spot_I0632.html

